

# 売上アップを実現する SNSの上手な活用術

## YouTube 活用術②

SNS を上手に利用すれば、たとえフォロワー数が少なくとも、コストをかけずに新規顧客を獲得し、売上アップにつなげることができます。その活用術を紹介します。

株式会社SYK

掲載(予定)テーマ

執筆 喜多野 修次  
監修 山崎 弘章

- vol.13 YouTube 活用術①
- vol.14 YouTube 活用術②
- vol.15 その他の SNS 活用術
- vol.16 競合他社の SNS 分析手法
- vol.17 効果測定と運用見直しのポイント
- vol.18 フォロワーとのコミュニケーション術



vol. 14

### YouTube動画の撮影方法とは

YouTube動画を撮影する際には、まず顔出しをして撮影するパターンと、顔出しをせずに撮影するパターンがあります。話すことが得意で顔出しに抵抗がない人は、自身の顔を出して撮影するのがベストです。一方で、どうしても顔出しをし

たくない場合には、次の3つの方法を検討しましょう。

- ① お面をかぶる(動物のお面など)
  - ② マスクをする
  - ③ PowerPointのスライド等に音声だけを入れる
- 特に最近では、①・②の方法で、顔を出さずにチャンネル登録者数を伸ばしているチャンネルが増えています。
- ②の場合は、Zoom上でビデオ

をオフにして画面共有を行ない、そこに音声を吹き込んで録画する方法(図1)や、PowerPointのスライドをZoomで共有し音声のみ吹き込んだ動画を録画して、無駄な部分をカットしてアップする方法(図2)が効果的です。

(ファイラー)を、できる限り使わないようにすることです。YouTube動画で最も重要なのは、前回触れたとおり、視聴者維持率が高く(最低40%以上)、最後までストレスなく見られる動画を作成することです。

撮影時には、次の3つのポイントを押さえることで、視聴者から反応を得やすい動画になります。

視聴者は、スピーカーがつかない言葉を使ったり、言葉につかえたりするだけで、とても大きなストレスを感じ、途中で視聴をやめて離脱することが多くなります。どうしてもつなぎ言葉が入ってしまうような場合には、動画を編集する際に、それらをカットするとよいでしょう。

① 明るい場所で撮影する

1つめは、できる限り明るい場所で撮影することです。

③ テンポよく話す

3つめは、話すテンポです。ゆっくり話すよりも、ややスピーディーにテンポよく話す動画のほうが、最後までストレスなく視聴してもらいやすい傾向にあります。特にビジネス系YouTubeの場合は、比較的スピーディーに話している動画であっても、視聴時に再生速度を上げる人が多いようです。

② 逆光を避ける

逆に部屋が暗かったり、顔が薄暗いと、それだけでネガティブな印象を与えて、動画が最後まで視聴されにくくなってしまいます。本番前には必ずテスト撮影を行い、明るさを確認するようにしましょう。

② つなぎ言葉(ファイラー)の排除

2つめは、「えー」や「あのー」などの話の合間にはさみ込む言葉

③ テンポよく話す

3つめは、話すテンポです。ゆっくり話すよりも、ややスピーディーにテンポよく話す動画のほうが、最後までストレスなく視聴してもらいやすい傾向にあります。特にビジネス系YouTubeの場合は、比較的スピーディーに話している動画であっても、視聴時に再生速度を上げる人が多いようです。

話すのがゆっくりな人は、「ジェットカット」という編集方法を活用するとよいでしょう。ジェットカットとは、動画のテンポをよ

図1 Zoomの画面共有による動画撮影の例

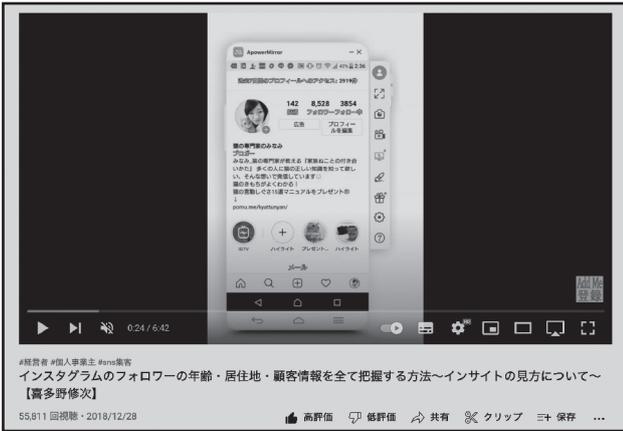


図2 PowerPointを用いた動画撮影の例

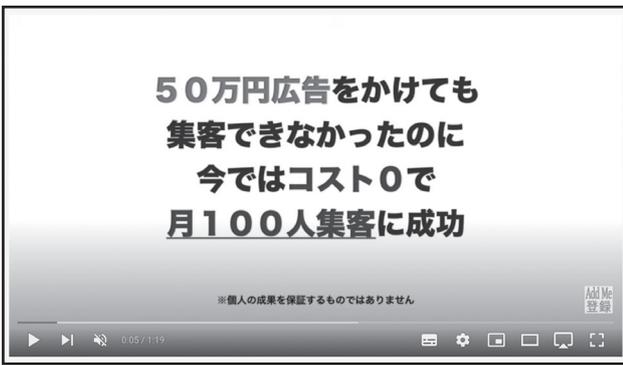


図3 YouTube動画の台本作成テンプレート

- ① 概要（動画のテーマ）
- ② 悩みの顕在化（こんな悩みありませんか？）
- ③ 動画を最後まで見ることで得られるメリット
- ④ 動画を最後まで見ないことによる損失
- ⑤ 目次～本題
- ⑥ まとめ結論
- ⑦ メルマガ・HP・LINE 等への誘導
- ⑧ チャンネル登録・コメントへの誘導

YouTubeのアルゴリズム上、コメント数が多い動画は特に拡散されやすい傾向にあります。「ご質問やご感想はコメント欄で受け付けています」と、一言伝えるだけでも、コメントが入りやすくなります。

届いたコメントに対しては、24時間以内に返信することで、コメント数が増えてさらに拡散されやすくなります。コメント欄は定期的にチェックして、返信を怠らないようにしましょう。

くするために、会話の間などの不要な箇所をカットする編集技法です。撮影時に、流暢に話せなかったとしても、ジェットカット編集を行なうことで、テンポよく見せることが可能です。

また、YouTubeは台本が9割です。一発本番で完璧な動画を撮らないといけないわけではありません。休憩をはさみながら台本を1文ごとに読み上げていき、合間編集時にカットすればよいのです。テンポよく話せなくとも、撮影時は自分のペースで話して問題ありません。

**視聴者維持率を高める  
台本テンプレート**

ビジネス系YouTubeの場合、内容の濃い、ためになる動画が、最終的に再生数が伸びる傾向にあります。

そのため、アドリブで撮影した動画よりも、しっかりと台本をつくり込み、台本どおりに話す動画のほうが、数十倍も反応を得られる動画になります。

YouTube動画の台本を作成する際の基本テンプレートは、**図表3**のとおりです。このとおりに動

画を構成することで、スムーズに最後まで視聴してもらいやすくなります。

まずは、①動画の概要を伝え、②こんな悩みありませんかと視聴者の悩みを顕在化、③その悩みを解決するためにはこの動画が必要であること、さらに最後まで視聴することで、どんな理想的な未来が手に入るかについて訴求、④反対にこの方法を知らないといろんな残念な結果が待っているのか、そうならないためにも最後まで視聴することが大切だということ

とがポイントです。

ただし、前置きが長くなると、やはり飽きられてしまい、離脱者が増えてしまいます。前置き（台本の①～④）は、必ず3分以内に抑えることがポイントです。

前置きを話したら、すみやかに⑤動画の構成（目次）を紹介し、本題に入ります。ここが動画のウエイトを一番占める部分です。

本題の後、⑥簡潔に動画のおさらいをして、⑦媒体への誘導と⑧チャンネル登録・コメントへの誘導をして終わりです。

なお、目次や動画中に紹介した商材等は、動画の概要欄にリンク等を貼って、まとめておくと親切でしょう。

きたの しゅうじ フリーランスを経て、株式会社SYKを設立。100アカウント以上のSNS運用実績をもとに、SNSマーケティングのコンサルティング・運用代行サービスを行なう。著書に『SNSで人を集める！』など。